

LMP シンポジウム 2022

レーザ加工技術の基礎・応用と最新動向（オンライン）

開催日：2022年2月24日（木）

開催方式：Zoom ウェビナー（Web 開催）

主 催

一般社団法人 日本溶接協会

企 画

レーザ加工技術研究委員会（LMP 委員会）

(Laser Materials Processing Committee)

後 援

- ◆一般社団法人溶接学会
- ◆一般社団法人日本鉄鋼協会
- ◆一般社団法人軽金属溶接協会
- ◆一般社団法人レーザー学会
- ◆レーザ協会
- ◆中部レーザ応用技術研究会
- ◆一般社団法人レーザ加工学会
- ◆一般社団法人スマートプロセス学会
- ◆一般社団法人日本チタン協会
- ◆公益財団法人日本金属学会
- ◆ステンレス協会
- ◆産報出版株式会社

（順不同、依頼中含む）

〔 開 催 趣 旨 〕

レーザ加工は産業界における適用が拡大し、レーザ発振器のほかレーザ加工用光学系、自動化システム、加工現象観察・診断装置などの周辺機器とその利用技術は日進月歩で開発が進められています。適用技術分野についても溶接・切断からマイクロ加工、3Dプリンタに代表される積層・部品直接造形など拡大の一途をたどり、今後も新たな分野への進展が期待されます。日本溶接協会 レーザ加工技術研究委員会（LMP 委員会）では、レーザ加工技術の普及と最新技術情報の周知を目的として、2001年より毎年その時々の最新レーザ装置、加工技術、業界の動向などを紹介するレーザ加工シンポジウムを開催して参りました。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年度に続き Web 会議によるオンライン開催となりますが、最近注目されている各種レーザ加工装置、プロセスおよび応用例など、我が国におけるレーザ加工技術のトレンドを総覧いただける講演を1日の講演会として集約し、皆様にご紹介させていただく運びとなりました。

今回のシンポジウムでは、「レーザ加工の基礎・最近のトレンド」、「Additive Manufacturing プロセス」、「短パルス・短波長レーザ加工」、「自動車車体・e-Mobility への適用」の4つのセッションで、それぞれ3~4件ずつ各分野を代表する専門家の方々に講演していただきます。最近注目されているレーザ加工技術を総覧いただくことに加えて、レーザ加工をこれから検討しようとする方々向けの基礎知識習得のための講演も選出しております。

是非この貴重な機会をご利用いただき、皆様の今後のレーザ溶接・レーザ加工の導入検討あるいは更なる新技術開発を行う一助としていただければと思います、ここにご案内申し上げます。

【プログラム】

09:00～09:10	開会挨拶、シンポジウム聴講上のご注意	レーザ加工技術研究委員会 委員長 片山 聖二 氏 (大阪大学名誉教授/㈱ナ・デックス)
セッション 1 【レーザ加工の基礎・最近のトレンド】		司会：原 亜怜 (JFE スチール㈱)
09:10～09:40	レーザ切断の基礎と動向	日酸 TANAKA(株) 小林 直希 氏
09:40～10:10	レーザ溶接の基礎と動向	㈱ナ・デックス 片山 聖二 氏
10:10～10:40	レーザクラディングの基礎と動向	大阪大学 接合科学研究所 佐藤 雄二 氏
10:40～10:50	休憩 (10分)	
セッション 2 【AM (Additive Manufacturing) プロセス】		司会：坪田 秀峰 (三菱重工業㈱)
10:50～11:20	革新的将来宇宙輸送システム実現に向けた AM 技術の活用について	(国研)宇宙航空研究開発機構 沖田 耕一 氏
11:20～11:50	AM プロセス紹介と GE における実用化の現状	GE Additive 堀部 朋宏 氏
11:50～12:20	レーザ式 AM 造形における物理現象とプロセスマップ生成	近畿大学 次世代基盤技術研究所 池庄司 敏孝 氏
12:20～13:10	昼食休憩 (50分)	
セッション 3 【短パルス・短波長レーザ加工】		司会：井上 裕喜 (㈱最新レーザ技術研究センター)
13:10～13:40	空間光位相制御技術のレーザ微細加工への応用展開	浜松ホトニクス(株) 福神 純平 氏
13:40～14:10	超短パルスレーザによるレーザマイクロテクスチャ加工とその応用	㈱リプス・ワークス 副田 精次郎 氏
14:10～14:40	超短パルスレーザーを採用した加工機 "Lasermeisteri1000S" のご紹介	㈱ニコン 江上 茂樹 氏
14:40～15:10	導入しやすい超短パルス・ファイバーレーザとアプリケーション	IPG フォトニクスジャパン(株) 東谷 明郎 氏
15:10～15:25	休憩 (15分)	
セッション 4 【自動車車体・e-Mobility への適用】		司会：木谷 靖 (JFE テクノリサーチ(株))
15:25～15:55	スチール車体、ルーフ・バックドアへのレーザブレンジング適用	日産自動車(株) 濱口 祐司 氏
15:55～16:25	e-Mobility におけるプロセスモニタリング技術	プレシテック・ジャパン(株) 田中 隆志 氏
16:25～16:55	xEV のための高品位レーザ溶接技術	古河電気工業(株) 村山 太郎 氏
16:55～17:00	閉会挨拶	レーザ加工技術研究委員会 副委員長 山本 元道 氏 (広島大学)

【ご留意事項】

- ・開始時間の 30 分前より随時シンポジウム URL へアクセスいただけます。事務局の方で参加者名を確認後、シンポジウム開催ルームへの入室許可作業を行います。アクセス方法の詳細は開催 1 週間前をめどにご連絡します。
- ・講師およびスケジュールについては、やむを得ない事情により変更になる場合があります。最新情報は LMP 委員会 Web サイト (<http://www.jwes.or.jp/lmp/>) にてご確認ください。

〔 開催要領 〕

1. 日 時

2022年2月24日（木）9:00～17:00

2. 定 員（※申込先着順とし、定員に達し次第締め切らせていただきます。）

120名

3. 参加料（1名分、テキスト代（PDF）・消費税を含む）

協会会員※1	後援団体会員※2	非会員
15,000円	18,000円	20,000円

※1 日本溶接協会団体会員会社（<http://www-it.jwes.or.jp/kain/kaindsp.jsp> 参照）にご所属の方。

※2 本シンポジウム後援団体（パンフレット1ページ目に記載）会員の方。

4. 申込期限

2022年2月14日（月）（ただし、定員に達し次第〆切）

5. 申込要領

(1) お申込みは以下の当協会 講習会・シンポジウムオンライン受付ページよりお願い致します。

右側の二次元バーコードからもアクセスいただけます。



➤ <https://www-it.jwes.or.jp/seminar/>

※当協会ホームページ「お知らせ・募集」（<http://www.jwes.or.jp/>）にも案内を掲示しております。

(2) 入力いただいた個人情報は、法律に則った当協会の方針に従い管理します。詳細は「一般社団法人日本溶接協会 個人情報保護方針」（<http://www.jwes.or.jp/privacy.html#info>）をご参照ください。

(3) 当協会側でお申込み確認後、受講確定メールを送信します。

※メールには「受講番号」が記載されています。当日シンポジウムのZoomウェビナーへ入室する際、お名前欄に受講番号を入力いただきますので、当日までメールを保管くださいますようお願い申し上げます。

(4) 受講確定メールをご確認の上、参加料を以下の口座へお振込みください。

お振込先：三井住友銀行 神田駅前支店 普通 No.0146921（一社）日本溶接協会 ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ ﾙﾝﾗｲﾝ ﾙﾝﾗｲﾝ ﾙﾝﾗｲﾝ

※振込手数料は貴社にてご負担ください。※原則として、口座へのご入金をもって領収に代えさせていただきます。請求書又は領収書の発行をご希望の場合は、申込の際に「摘要欄」へご記入ください。

(5) 参加費ご入金後、あるいは申込期限を過ぎてからのキャンセルは受付できません。ご欠席の場合は、代理出席をお願い致します。

(6) 開催1週間前までにメールにてテキストPDFのご案内をお送りします。未着の場合は事務局までご連絡ください。

6. 事務局（問い合わせ先）

一般社団法人日本溶接協会 業務部 下園（シモゾノ）

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

TEL：03-5823-6324 FAX：03-5823-5244

7. 開催方針

(1) Zoom ウェビナーによるオンライン開催といたします。会場に集合しての開催はございません。当日会議室へ入室する要領（ミーティングIDとパスワード）、その他操作案内はお申込みいただいた方へ開催1週間前をめどに送付します。

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況またはその他の事情により、講師変更またはシンポジウム開催中止となる場合がございます。万が一シンポジウム開催中止の場合は参加料を全額返金致します。

(3) 最新情報は当協会 レーザ加工技術研究（LMP）委員会ホームページ（<http://www.jwes.or.jp/lmp/>）にて随時ご案内します。ご確認の程宜しくようお願い申し上げます。

[オンライン開催にあたっての留意事項]

今年度は以下の要領にてシンポジウムをオンライン開催いたします。お申込み前に十分ご確認ください。
聴講に関する操作等の詳細は、お申込みいただいた方へ後日案内します。

1. 利用システム

Zoom ウェビナー (<https://zoom.us/jp-jp/webinar.html>)

2. 受講者側で準備いただくもの

- ・インターネット環境
- ・上記に接続されている PC、スマートフォン、タブレット

※受講者側ではカメラを使用しませんので、準備の必要はございません。質疑応答では各自マイクを使用して発言いただきますので、マイクは必要に応じて事前にご準備ください。聴講、発言時の音声品質の確保のためには、ヘッドセット、イヤホンマイクの使用を推奨いたします。

- ・Zoom アプリ

※Zoom はブラウザでも使用できますが、通信品質確保のためアプリでの参加を推奨いたします。予め、聴講に使用される PC に Zoom アプリをインストールしておいていただければと存じます。

※Zoom 使用のためのシステム要件は以下を参照ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

3. 禁止事項

- ・申込者ご本人以外も自由に閲覧できるような環境（例：仕切りのないオープンスペース、テレビやスピーカーでの映像・音声放送）での受講はご遠慮ください。
- ・シンポジウム配信画面の記録（撮影・録音・録画・スクリーンショットの取得その他一切の手段による）および講演内容の無断転用・無断転載を禁止します。

4. Zoom ウェビナーへの参加方法

当日 Zoom ウェビナーに入室する要領（ミーティング ID とパスワード）は、お申込みいただいた方へ開催 1 週間前をめどに送付します。また、聴講に必要な Zoom の操作、聴講に際しての注意事項などの案内も併せて送付する予定です。

以上